

# 緑の保全活動に取り組む大学生達

## 明星大学が東京グリーン・キャンパス・プログラムを実施

平成22年10月11日(月・祝)、日野東光寺緑地保全地域において「東京グリーン・キャンパス・プログラム」を実施し、明星大学の学生が地元ボランティア団体「緑地管理ボランティアの会」のみなさんの指導を受けながら、授業の一環として緑地保全活動を行いました。



参加を通じて、緑の保全に対する関心の喚起や行動力の醸成を促すことを目的として実施するもので、今回は、明星大学、東京都、日野市の3者で協定を結び、活動の運営・指導を行う「緑地管理ボランティアの会」の4者で学生を支援することになったものです。

このプログラムは、平成20年度から東京都が大学と協定を結び、次世代の担い手である大学生の緑地保全活動への

当日は、晴天にも恵まれ、元氣よく集合した42名の学生達。開会式では、里山保全の仕組み、保全地域の概要、作業内容などの説明を受けた後、各フィールドへ移動しエリアごとのリーダーの下、道具の使い方の実習が始まりました。鋸を持って斜面地の竹林の間伐や枯損木の処理を行うグループ。鎌を持って下草刈りを行うグループ。傾斜がきつく足を踏ん張りにくい竹林の地面でもコツをつかんだ学生達は、「番傘をさして歩ける程度」の竹と竹の間隔を保ちながら、

手際よく竹を切り倒していました。

昼食を挟んで午後の作業を行う頃には、次第に慣れて上手に道具を使いこなせるようになったあちこちのグループから「オーっ！」という仲間の作業を絶賛する声、自身の



作業に満足する声など若者らしい元氣な声を響かせながら作業が進んでいきます。そして、作業が終了に近づく頃には、間伐した竹林の間からたくさん光が差し込み、見違えるほどの明るい緑地へと姿を変えていました。

活動終了後には、「難しかったけど、楽しかった」、「機会があればボランティアとして参加したい」などの声が聞かれ、来年度も継続して実施されるこの取り組みから多くの緑の担い手が誕生することを願っています。(Y・K)

## 市内一斉清掃

市では、毎年、5月(春)と11月(秋)の最終日曜日を「日野市みなでまちをきれいにする条例」に基づき、市民みなでまちをきれいにする日としています。

自治会・子ども会・老人会などの様々な団体にご協力をいただき、地域美化を考え、実践をしております。今後の地域の美化活動を進めるきっかけとして、また、この清掃活動を通してみなさんの交流を深め、地域のつながりを強めるきっかけづくり



11/28(日) 市内一斉清掃		
参加人数	収集量(可燃)	収集量(不燃)
18,204名	42,060kg	1,900kg

としていただければ幸いです。今年度の秋は11月28日(日)に実施しました。みなさまのご協力のおかげで無事に実施することができました。ありがとうございます。

次回は来年度の5月29日(日)です。ご協力をよろしく願います。(環境保全課)